グローバル女子会 広島で

来月14日 高梁出身の丸山さん呼び掛け

「国内で働くグローバル女子会」。こんなネーミングの交流イベントが来月14日、広島市中区のスペース&カフェ「Hana Hana」である。仕掛け人は高梁市出身で一般社団法人「和みの会」代表理事の丸山幸子さん(53)＝東京都港区。国内で働く女性が集い、つながろう、新しいビジネスの種が生まれるかも…。いろんな「わくわく」を共有したいと意気込む。

同会は2011年に発足。グローバルな視野を持って国内外で活躍する、女性たちのネットワークだ。会員は約200人で、うち3割が米国、中国などのアジア各国で仕事をしている。ベトナム日本語フリーペーパー等を作る人、タイでカルチャースクールを経営する人、中国で日本企業向けのコンサルティング会社を営む人…。聞けば皆に多彩だ。

講師はネットで情報を交わしているが「年に1度は集まって仲間を増やそうじゃないか」というのがこの女子会。11年は東京、12年は熊本で開き、今年は広島を会場に選んだ。海外在住のメンバー20人以上が女子会のために帰国するという。

「外国で自力で活路を見いだし、のびのび仕事をしている人たちから、いろんな刺激をもらえるはず」と丸山さん。女子会は食事を楽しみながら、学生も大歓迎。前日の13日は中区のJAビルで男性も参加できるビジネス交流会などを開く。

「海外に友達がいる―。それだけでもすごく視野が広がるはず」と話す丸山さん

国内外から集合 「わくわく」共有を

自身もIT系人材サービス・WEB映像制作会社の経営者。本業の合間に、女子会の準備に東奔西走する日々が続く。「仕事以外の楽しみが無ければ、本業も頑張れない」という。和みの会は「私のライフワークです」と。

「子育ての代わりなのかもしれない」とも話す。会社員の夫との間に子どもはいない。50代になり、次世代のためにできることはないかと考えた。「仕事で、厳しい就職戦線にさらされる若者をたくさん見てきたから」

日本の市場は狭まるばかり。国外に飛び出そうにも一歩を踏み出せないという学生も多い。「でも大丈夫。案外みんな、海外でうまくやっているよ、つながったら怖くないよ」。そんなメッセージが送れたら―。後輩女子への熱いいっぱいのエールを、このイベントに託している。

（木ノ元陽子）

昨年、熊本市で開いたグローバル女子会。約200人が参加した（丸山さん提供）

グローバル女子会は午後7～9時、参加費7千円（学生4千円）、5～7時の美術館鑑賞券付き。13、14日のプログラムの詳細や申し込みは和みの会サイト（http://www.wa-no.org）で。